

令和3年度の主な取り組み

令和4年9月
仙台市経済局

目次

令和3年度の取り組み概要	3
1.新型コロナウイルス感染症に係る経済対策	4
(1) 地域経済への影響を最小限に抑える取り組み	5
(2) 経済環境の変化を踏まえた変革の促進	16
2.経済成長戦略推進	24
(1) 「地域リーディング企業」を生み出す徹底的集中支援の推進	25
(2) ローカル経済循環を拡大する「地消地産」の推進	34
(3) Society5.0を実現する「X-TECH（クロステック）イノベーション都市・仙台」	37
(4) 東北の豊かな未来を創る「ソーシャル・イノベーション都市・仙台」	48
(5) 次世代放射光施設立地を最大限に生かす「光イノベーション都市・仙台」	55
(6) ダイバーシティ経営による人材確保	56
(7) 仙台・東北のポテンシャルを高める基盤づくり	66
(8) その他産業振興にかかる事業	69
3.農業の持続的発展	71
(1) 収益性の向上と所得の確保	72
(2) 経営体の確保・育成	76
(3) 魅力ある地域の形成	79
(4) 生産基盤の強化	84
4.仙台中央卸売市場	88
(1) 管理課	89
(2) 業務課	89
(3) 花き市場	90
(4) 食肉市場	90

令和3年度の取り組み概要

令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症により、大きく影響を受けた本市地域経済を立て直すため、資金繰り支援や事業継続支援、感染症拡大防止に向けた様々な経済対策に取り組んだ。また、コロナ禍を契機とした更なる成長を後押しするため、新規プロジェクトへのチャレンジや業態転換などの前向き投資への支援等を行った。

産業政策分野においては、「仙台市経済成長戦略2023」や中小企業活性化条例に基づき、地域を牽引する「地域リーディング企業」を生み出すための集中支援など本市の競争力強化につながる支援や、事業継承などの中小企業の課題解決に向けた支援を行った。また、先端技術との融合による新事業創出支援や起業支援、次世代放射光施設の利活用促進などイノベーションによる新たな成長促進を図った。さらに、多様な人材が活躍できる環境の構築や企業立地促進など地域経済が成長するための基盤づくりに対する取り組みを行った。

農業分野においては、6次産業化や地産地消などを通じた農業の収益性向上や、認定農業者・新規就農者に対する支援などによる経営体の確保・育成、また、有害鳥獣対策による魅力ある地域の形成や農業用施設の長寿命化による生産基盤の強化など、本市農業の持続的な発展に向けた取り組みを行った。

中央卸売市場においては、東北で唯一の「水産」「青果」「花き」「食肉」の四部門を持つ総合市場として、東北全体における生鮮食料品流通の中核的な拠点としての役割を果たすとともに、施設の老朽化、ワールドチェーンの構築、低温保管施設の不足など市場が抱える課題を解決していくため、施設の整備、改修や再整備のための調査検討業務委託を行った。

※予定していた一部事業については感染症の影響により、内容の見直しや実施を延期または中止しています。

1.新型コロナウイルス感染症に係る経済対策

(1) 地域経済への影響を最小限に抑える取り組み

(2) 経済環境の変化を踏まえた変革の促進

(1) 地域経済への影響を最小限に抑える取り組み

セーフティネット保証関連融資にかかる 信用保証料補給

中小企業支援課

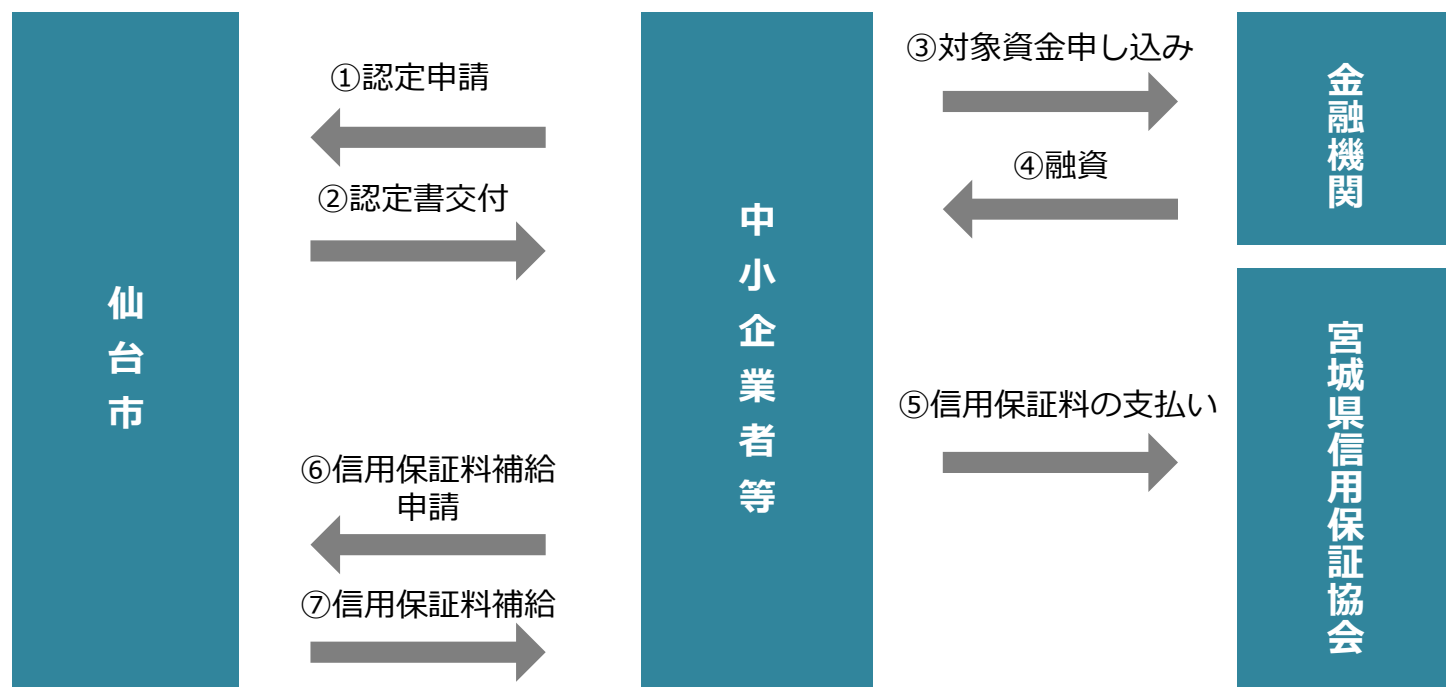
(連絡先：022-214-1003)

令和3年度決算額：149,065千円

令和3年度の取り組み

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中小企業者が、本市制度融資の対象資金により資金調達を行った際に当初支払った信用保証料を一事業者当たり上限100万円を補給し、資金繰り支援を行った。

- ・ 交付決定件数 405件
- ・ 支給額 149,065千円



(1) 地域経済への影響を最小限に抑える取り組み

新型コロナウイルス対策資本金性劣後ローン連動型 給付金

中小企業支援課

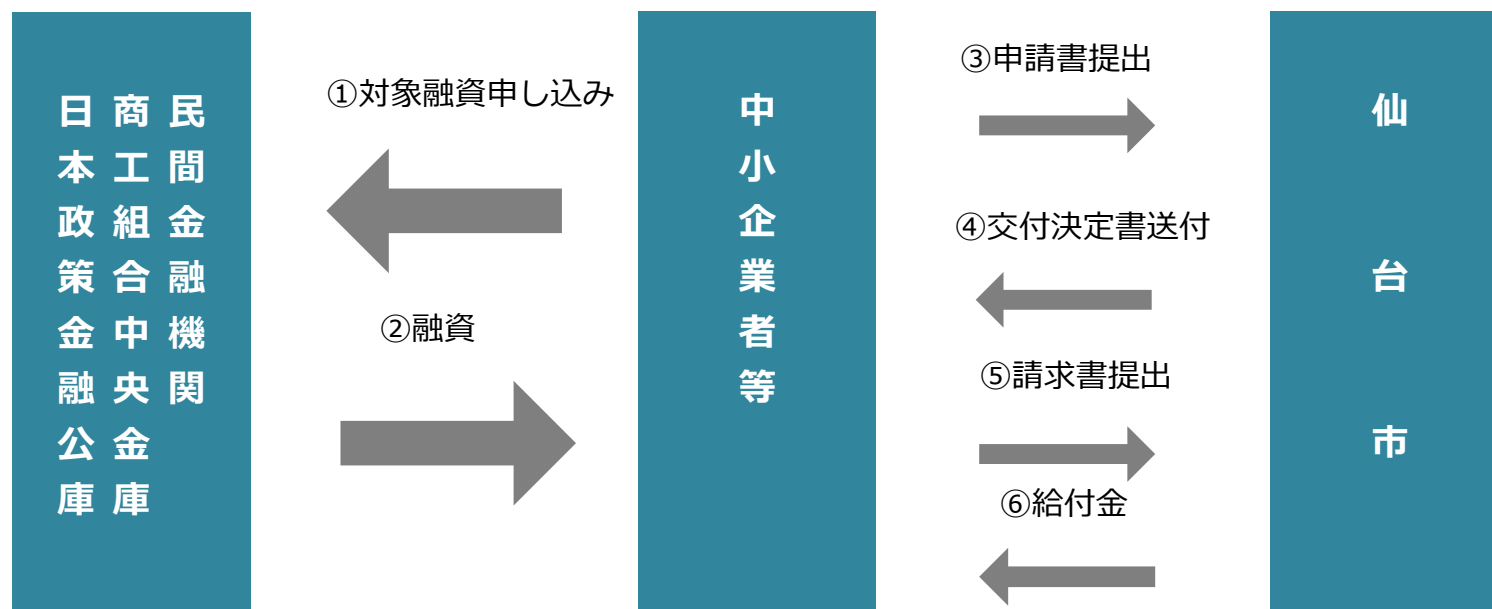
(連絡先：022-214-1003)

令和3年度決算額：248,078千円

令和3年度の取り組み

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、日本政策金融公庫または商工組合中央金庫による新型コロナウイルス対策の資本金性劣後ローンと民間金融機関からの協調融資により財務体質の強化と資金繰り改善に取り組む事業者に対し、最長5年分の利子相当額（上限10,000千円）の給付を行った。

- ・ 交付決定件数 56件
- ・ 支給額 248,078千円



(1) 地域経済への影響を最小限に抑える取り組み

商店街応援割増商品券発行事業

商業・雇用支援課

(連絡先：022-214-1001)

令和3年度決算額：729,378千円

令和3年度の取り組み

新型コロナウイルスの感染拡大により売り上げが減少した事業者の支援を目的として、商店街振興組合等が割増商品券を発行する際に、当該経費の一部補助を実施した。

- ・国分町及び一番町四丁目エリア 割増率 5割
- ・各商店街エリア（国分町エリア以外） 割増率 2.5割

- ・商店街毎の割増商品券発行数 31種類
- ・取扱店数 2,181店
- ・商品券発行総額 2,143,670千円
- ・商品券利用金額 2,131,793千円（換金率 99.45%）
- ・参加した全ての商店街において、売上向上、会員店舗増などの効果があったと回答
- ・本事業を契機に2商店街が新たに設立された

商店街で作成した割増商品券販売の周知チラシ



各商店街での割増商品券販売会の様子

(1) 地域経済への影響を最小限に抑える取り組み

頑張る商店街応援事業

商業・雇用支援課

(連絡先：022-214-1004)

令和3年度決算額：1,241千円

令和3年度の取り組み

商店街が主体的に取り組むイベント事業や、商店街のイメージ創出を図る取り組み、商店街にある個店・地域資源の魅力を発信する取り組み等を行う意欲のある商店街に対し支援を行い、地域のにぎわい創出と売上げ向上を図った。

- ・商店街イベント助成事業：3件
支援した全ての商店街において、イベント期間中の来街者数が増加したと回答
- ・商店街魅力向上支援事業：1件
支援した商店街において、HP作成により来街者数が増加したと回答



商店街イベント助成事業を活用した商店街イベント
(左：文化横丁キャンドルナイト、右：河原町クリスマス
マーケット サンタ商店街)



商店街魅力向上支援事業により作成したホームページ
(高砂商工振興会)

(1) 地域経済への影響を最小限に抑える取り組み

オンライン展示会開催

仙台市産業振興事業団 経営支援課 (中小企業支援課)

(連絡先: 022-724-1122)

令和3年度決算額: 1,044千円

令和3年度の取り組み

オンライン展示会システムを構築し、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受ける中小企業の販路開拓を支援した。令和3年度は新東北みやげコンテスト入賞商品の掲載を行った。

- ・ マッチング件数 61件
- ・ 商品掲載件数 52件
- ・ ページ閲覧数 16,826回



オンライン展示会トップページ



出展商品一覧ページ

(1) 地域経済への影響を最小限に抑える取り組み

仙台市輸出入チャレンジ支援助成金

産業振興課

(連絡先：022-214-1005)

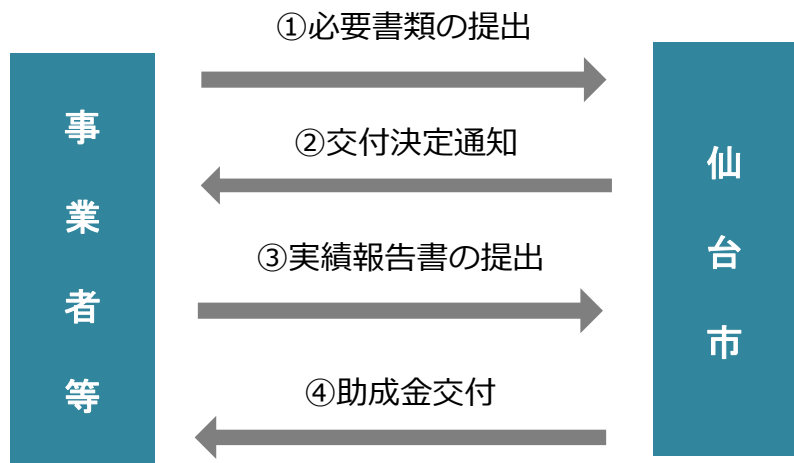
令和3年度決算額：2,253千円

令和3年度の取り組み

市内企業が輸出、輸入、アプリケーションのローカライゼーションなどの海外市場開拓へ参入することを促進し、本市経済の国際化・活性化を図った。

コロナ禍においてオンラインでの商談会への出展費用や商品説明動画の作成費用、サンプル輸送費用などへ対象経費を拡大した。

・助成金利用件数 7件



令和4年度 オンライン商談に係る経費についても助成します。

仙台市 輸 出 入 チャレンジ支援助成金

～海外市場開拓に関する下記の事業に対する経費を助成します～

1. 輸出（オンラインを含む国際見本市等への出展・初年度輸出・越境 EC）に係る経費
2. 輸入（初回サンプルの輸入）に係る経費
3. アプリケーションのローカライズに係る経費

■ 目的 市内企業の海外市場開拓を促進し、本市経済の国際化・活性化を図る

■ 対象事業者 仙台市内に本社を置く中小企業等

- 前年度内に本要綱による助成を受けていない方
- 国又は県から同一の項目に関する助成を受けていない方
- 助成金の交付決定時において本市税の申告を行い、かつ滞納をしていない方
- 暴力団等と関係を持っていない方

■ 対象経費

1. 海外への輸出を行う事業に係る経費
(1) 国際見本市等に出展する経費(2) 初年度輸出に係る経費(3) 海外への電子商取引に係る経費
2. 海外からの輸入を行う事業に係る経費（初回サンプルの輸入）
3. 海外から国内・国内から海外へのアプリケーションのローカライズを行う事業に係る経費
※サンプルの輸入は経費の対象となります
※年内に事業が終了するものに限り、対象経費については期間に記載しています
※本要綱による助成金交付回数5回を上限とします

■ 助成率

重点産業・重点地域の該当によって下記表のとおり助成します

- 重点産業 競争力強化、IT産業、デザイン産業及び食品産業
- 重点地域 アセアン及びEU
- 助成割合 対象経費の2分の1以内（本市予算の範囲内で助成いたします。）

	重点地域	重点地域以外
重点産業	上限 50万円	上限 35万円
重点産業以外	上限 35万円	上限 25万円

■ 申込み・お問い合わせ先

担当部署： 経済産業部国際経済振興課国際経済室
住 所： 〒980-0803 仙台市青葉区美田3-6-1仙台パークビル東館
電 話： 022-214-1005 E-mail: su2023@city.sendai.jp

(1) 地域経済への影響を最小限に抑える取り組み

福祉機器等アジアビジネス展開支援

産業振興課

(連絡先：022-214-1005)

令和3年度決算額：944千円

令和3年度の取り組み

これまでフィンランドと連携し実施してきた「仙台フィンランド健康福祉センタープロジェクト」の中で生まれた高齢者用の福祉機器を、今後高齢化が進むASEAN諸国へ輸出するための支援を行った。タイに設置した「仙台タイ経済交流サポートデスク」では、タイを中心としたASEAN諸国への進出支援等に取り組んだ。

令和3年度はコロナ禍で渡航できない状況を踏まえ、セミナーによる事業者育成を実施した。

- ・福祉機器等ビジネス現地報道レポート 12件
- ・オンラインセミナー 1件



(1) 地域経済への影響を最小限に抑える取り組み

仙台-タイ経済交流サポートデスク

産業振興課

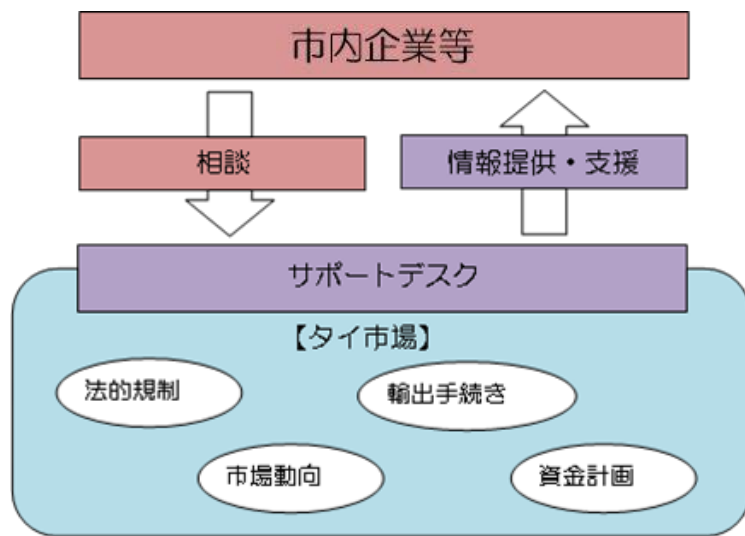
(連絡先：022-214-1005)

令和3年度決算額：1,733千円

令和3年度の取り組み

タイ・バンコク都に「仙台-タイ経済交流サポートデスク」を設置し、タイへの製品・技術等の販路開拓を希望する市内企業等の個別の相談に乗りながら、それぞれのニーズに合わせた支援を行うことで、市内企業等のタイへの輸出・進出の促進を図った。

- ・相談企業件数 35件
- ・メルマガ配信件数 12件
- ・オンラインセミナー開催回数 3回



(1) 地域経済への影響を最小限に抑える取り組み

タイ食品輸出物産展・展示会出展への支援

産業振興課

(連絡先：022-214-1005)

令和3年度決算額：P12 (仙台-タイ経済交流サポートデスク) に含む

令和3年度の取り組み

現地のサポート体制が整っているタイへの食品・飲料を扱う市内・域内企業の海外輸出機会の創出と、現地販路開拓支援を行った。

令和3年度はコロナ禍で渡航できない状況を踏まえ、ワークショップによる事業者育成を実施した。

・オンラインワークショップ開催回数 3回



海外展開オンライン
チャレンジセミナー

最終回：海外ECモール活用と実践編

横川広幸
ジェイグラブ株式会社顧問ECCコンサルタント
2021年10月20日



輸出入チャレンジ入門オンラインセミナー ～海外ECビジネスの始め方 (BtoB編)～ 仙台市、中小機構東北本部共同開催

コロナ禍の今だからこそ、海外向けECでビジネスチャンスをつかんでみませんか！ ECビジネスに必要な戦略やノウハウなどを専門家が伝授します。

日時	令和3年9月1日(水)14:00～16:00
対象	東北域内の中小企業、小売業者、支援機関関係者等
講義内容	海外向けECビジネスでどんなことができるのか・・・ 海外向け (BtoB) ECビジネスのような戦略で臨むべきなど、海外との取引に必要な知識や心構えをお伝えます。 -BtoB戦略について詳しくお伝えします。 -コンテンツマーケティングについて -海外を相手に仕事をするということ -売れる商品の見つけ方 -トラブルを防ぐためにEtc
講師紹介	中小機構 中小企業アドバイザー ジェイグラブ株式会社顧問ECCコンサルタント 横川 広幸 氏 輸出EC歴20年以上。専業輸出アシスタント・専業モデリア関連企業を経てEbayに入社。専業主婦のかたが子・マネージャー。後にシステム開発のディレクションを行う。2009年自ら世界66カ国に仏業を展開する輸出ECサイト「TokyoDirect」を創設。仏業とEbayの両立を目指すジェイグラブ顧問ECCコンサルタントとして輸出EC事業全体の支援やアドバイスを行う。自ら輸出ECサイトを実践しているからこそ知る「失敗と成功事例」を徹底的に掘り下げアドバイスいたします。
参加費	無料
申込方法	このセミナーは全3回シリーズとなっております。 続けてご受講いただくことで、オンラインビジネスの様々なノウハウの習得が期待できます。 第1回：海外ECビジネスの始め方 (BtoB編) 9月 1日 開催 第2回：海外ECビジネスの始め方 (BtoC編) 9月 22日 開催 第3回：オンラインプラットフォームの活用編 10月 20日 開催

以下のお申し込みフォームからお申し込みください。
<https://forms.gle/MXw8Ch49UVjX8PxG6>
【申込べ切：8月31日(火)】

仙台市経済局政策課産業振興課国際経済課 担当：赤井澤 TEL: 022-214-1005 FAX: 022-214-8321
Email: kaigai-challenge@city.sendai.jp
〒980-0803 仙台市青葉区宮町三丁目6-1 仙台パークビル9階

(1) 地域経済への影響を最小限に抑える取り組み

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策事業

経済企画課

(連絡先：022-214-8275)

令和3年度決算額：1,519千円

令和3年度の取り組み

仙台商工会議所、みやぎ仙台商工会と連携して実施している「仙台 感染症対策・地域経済循環プロジェクト」において作成した「感染防止 思いやり宣言」ポスター・ステッカーや市民・飲食店向けの感染対策啓発動画、また、事業者向けに作成した感染拡大防止ガイドブック等を活用し、新型コロナウイルス感染症対策と地域経済循環の両立を図った。

- ・伊達武将隊出演の感染症対策啓発動画 放映
市内大型ディスプレイ等 13カ所
- ・「感染防止 思いやり宣言」ポスター・ステッカー配付
- ・感染拡大防止ガイドブック・集団感染事例集配付



(1) 地域経済への影響を最小限に抑える取り組み

感染拡大防止協力事業者特別支援金

中小企業支援課

(連絡先：022-214-8772)

令和3年度決算額：19,143千円

令和3年度の取り組み

新型コロナウイルス感染症の感染患者が複数名発生した市内施設において、感染拡大防止のために保健所が行う積極的疫学調査と施設名の公表等に協力し、更なる感染予防対策を講じた事業者に対して、円滑な事業再開や感染症対策に向けた経済支援を行った。

【感染症対策の例】

市から感染症の専門家を施設に派遣し、感染症対策の指導を行い、作成した感染対策計画書に基づき、感染症対策実施に要した経費（CO2センサーの導入、サーキュレーターやアクリル板設置など）を支援した。

・支援件数

施設名公表等協力分 17件

感染対策実施分 19件（※）

※業種・業態の内訳

保育施設 4件、障害者施設 4件

教育機関 4件、高齢者施設 3件

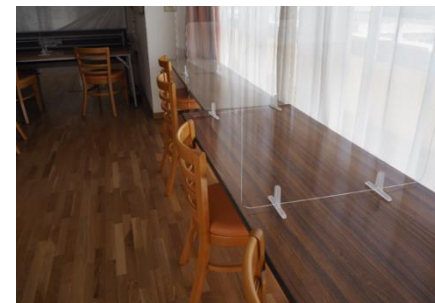
飲食店 2件、その他 2件



専門家による指導



CO2センサーの設置



アクリル板の設置

(2) 経済環境の変化を踏まえた変革の促進

地域産業応援金

中小企業支援課

(連絡先：022-214-7329)

令和3年度決算額：158,927千円

令和3年度の取り組み

【地域産業応援金】

当初は、国の中小企業生産性革命推進事業、経営力向上計画および経営革新計画を対象としていたが、新型コロナウイルス感染症の影響を乗り越えるための取り組みをより促進すべく、令和3年8月に国の事業再構築補助金を対象に加えた。

・支給件数 680件、支給金額 152,900千円

【補助金活用事例集】

従来の小規模事業者持続化補助金に係る活用事例の紹介に加え、事業再構築補助金の活用事例も紹介した。

・事例紹介件数

小規模事業者持続化補助金 6件

事業再構築補助金 2件



【補助金獲得セミナー】

仙台市産業振興事業団の中小企業応援窓口での補助金申請手続き支援に加えて、国の事業再構築補助金および小規模事業者持続化補助金の獲得セミナーを開催した。また、小規模事業者持続化補助金については、申請書の書き方を実践的に学ぶことができる少人数ゼミを開催した。

・開催回数

事業再構築補助金獲得セミナー 3回

小規模事業者持続化補助金獲得セミナー 3回

小規模事業者持続化補助金申請書の書き方ゼミ 3回



(2) 経済環境の変化を踏まえた変革の促進

中小企業チャレンジ補助金

中小企業支援課

(連絡先：022-214-7338)

令和3年度決算額：58,316千円

令和3年度の取り組み

新型コロナウイルス感染症の影響による社会の変化に適応するため、新たな商品やサービスの開発、新分野展開、業態転換などの前向きな取り組みを行う市内の中小企業等に対して支援を実施した。

【支援内容】

- 補助対象経費の金額に応じた補助金の支給
- 仙台市産業振興事業団の専門家による伴走支援
- 新商品、新サービス等の広報支援

【応募結果】

	第1回	第2回	第3回
申請件数	117件	63件	80件
採択件数	8件	30件	28件

【採択事例】

- 飲食事業者と旅客運送事業者が軽貨物運送事業を共同で立ち上げ、飲食店アプリからの注文による独自デリバリーや配送代行業業を行う新事業展開
- 建築事業者が所有する工具をシェアリングし、プロが使い方も教えることでお客様との接点を増やし、新規顧客も開拓する新サービスの提供
- 酒類の卸売事業者が飲食店にナチュラルワインを保管した冷蔵ショーケースを設置する委託販売事業により、飲食店の在庫リスクを低減しつつ新規顧客も開拓する新サービスの提供



(2) 経済環境の変化を踏まえた変革の促進

コロナ対応型成長企業支援事業

仙台市産業振興事業団 経営支援課 (中小企業支援課)

(連絡先: 022-724-1122)

令和3年度決算額: 1,275千円

令和3年度の取り組み

非対面型の営業スキル等を学ぶデジタルマーケティングセミナーの開催を通じ、コロナ禍での消費行動・消費者ニーズの変化に対応するためにオンライン化を積極的に進める等、既存のビジネス手法の変更・改善に挑戦する中小企業者等を支援した。

- ・セミナー開催回数 12回
- ・参加事業者数 延べ227社



オンラインセミナーの開催



リアルセミナーの開催

(2) 経済環境の変化を踏まえた変革の促進

企業間連携による中小企業の課題解決事業

中小企業支援課

(連絡先：022-214-1003)

令和3年度決算額：6,371千円

令和3年度の取り組み

中小企業の課題解決に向けて、大きな経営課題となっている「SDGs」を連携テーマと定め、基本事項の講義と連携事例紹介を兼ねた勉強会の開催や、専門家による経営相談、首都圏展示会への出展等を行った。

・支援企業数 11社



SDGs勉強会



首都圏展示会

(2) 経済環境の変化を踏まえた変革の促進

中小企業応援窓口

仙台市産業振興事業団 経営支援課 (中小企業支援課)

(連絡先: 022-724-1122)

令和3年度決算額: 29,909千円

令和3年度の取り組み

新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けている中小企業、小規模事業者等に対して、持続化補助金、雇用調整助成金等の各種助成金の申請手続きや、中小企業等が抱える課題にワンストップで対応した。

・相談件数 3,911件

【支援内容】

各種給付金、補助金等の紹介、申請書等の作成支援

各種融資制度、その他支援制度の紹介

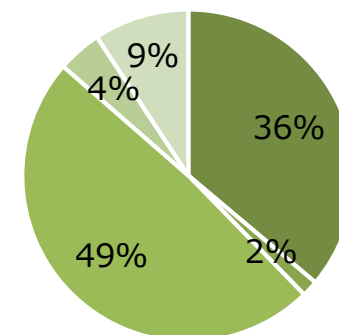
ECサイト構築など非対面型ビジネスへの転換

事業計画の策定支援、資金繰りの確認

販路開拓、商品開発支援

相談方法

- 来訪
- 訪問
- 電話
- オンライン
- メール



【主な申請支援対象補助金】

事業復活支援金、一次支援金、月次支援金

感染症拡大防止協力金、時短要請等関連事業者支援金

事業再構築補助金、持続化補助金、雇用調整助成金

中小企業チャレンジ補助金

(2) 経済環境の変化を踏まえた変革の促進

キッチンカーマルシェ実証実験

商業・雇用支援課

(連絡先：022-214-1001)

令和3年度決算額：7,051千円

令和3年度の取り組み

都心部の公園や公開空地を活用し、キッチンカーによる移動販売の機会を提供することにより、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて業態転換等に取り組む事業者を支援するとともに、キッチンカーの事業継続の可能性と課題の検証を行った。

- ・実施期間 R3年8月～R4年3月
- ・実施回数 7回（各回3日間実施）
- ・実施場所 勾当台公園（市民広場、いこいの広場）、
錦町公園、仙台トラストシティ、
アエル1階北側広場、NTTドコモ東北ビル
- ・参画事業者数 42事業者（延べ133事業者）
- ・購入者数 延べ4,540名
- ・参画事業者中36事業者が、今後もキッチンカーマルシェの取り組みに参加したいと回答



キッチンカーマルシェ実証実験のチラシ



当日の様子

(2) 経済環境の変化を踏まえた変革の促進

若者就労・定着支援事業

商業・雇用支援課

(連絡先：022-214-1007)

令和3年度決算額：8,000千円

令和3年度の取り組み

コロナ禍により就職が困難な状況におかれた新卒者や内定取り消し者、就職先が決まらずに非正規雇用で働いている者や職を失った20代から34歳までの若年層を対象に、就職に関する研修や企業とのマッチングイベントを開催し、求職者の就労支援および地元企業の人材確保を図った。

- ・就職決定者数 16名
(うち正規雇用13名、非正規雇用3名)

- ・サポート登録者数 31名
- ・スキルアップ研修
実施回数 76回、参加者数 延べ119名
- ・マッチングイベント「企業との本音トーク会」
開催回数 3回
参加企業 延べ12社
参加者 延べ30名

WorkTerra SENDAI

仙台市若者就労・定着支援事業

「ワークテラス仙台」で自分探求

求職中、または非正規雇用の若者世代の正社員就職を、一人ひとりに寄り添って支援します。

プログラム内容 マッチングイベント お問い合わせ・お申込



本音トーク会の様子

WorkTerra SENDAI

仙台市若者就労・定着支援事業

ワークテラス仙台で自分探求

求職中または非正規雇用の若者世代の正社員就職をサポートします。ご利用無料！

3つのメリット

- 1 マッチング支援
カウンセリングから応募先の決定、面接トレーニングまで一貫して支援力をサポートします!!
- 2 オリジナル講座
参加したい講座を選んで受講し一緒に実践力をUPさせましょう!!
- 3 就業後もフォロー
就職決定後も、コーディネーターが定着支援のフォローを行います。

対象になる方

- 20歳から34歳まで、以下いずれかに該当する方
- 就職活動を行っており、正社員就職を希望する方(高卒、第二学卒、就職浪人生、内定の取消しを受けた方、経済的理由により大学等々中退された方、失業中の方等)
- 非正規雇用で働かれていて、正社員就職を希望する方

仙台市若者就労・定着支援事業 ワークテラス仙台事務局 <https://workterrace-sendai.jp>

☎022-217-2120 受付時間：9:00～17:00(休日も受付)

✉pts-sendai_wakamono@os.tempstaff.jp

詳細は 画面へ

(2) 経済環境の変化を踏まえた変革の促進

就職氷河期世代就職支援事業

商業・雇用支援課

(連絡先：022-214-1007)

令和3年度決算額：15,000千円

令和3年度の取り組み

就職氷河期世代（35～50歳）の方で、主に非正規雇用の方などを対象とし、相談支援、平日夜間や土日のスキルアップ研修、氷河期世代の方の正規雇用に向向きの企業とのマッチングイベント等の開催により、求職者の就職支援および地元企業の人材確保を図った。

- ・ 就職決定者数 14名
(うち正規雇用13名、非正規雇用1名)
- ・ 事業登録者数 97名
- ・ 個別相談実施回数 52名 (延べ153回)
- ・ スキル向上支援研修等参加者数 64名
- ・ 求人企業数 74社
- ・ 「オンライン就職フェア」
参加企業数11社 参加者数22名
- ・ 「正社員就職大相談会」
参加企業数22社 参加者数23名

”就職氷河期世代(35～50歳)の方へ” 仙台市

就職氷河期世代就職支援事業

仙台市が正社員雇用を目指すあなたをサポート!

なるっちゃ! 正社員!

不安やお悩み、ご希望は、それぞれがうもの... おひとりおひとりに寄り添って、サポートいたします。

- ✓ まずは相談したい
- ✓ 正社員になりたい
- ✓ スキルアップしたい

相談は全て無料です

Sendai Shine Assist Center 仙台シャイン・アシストセンター
フリーダイヤル: 0120-740-122

2021.12.04 10:00-15:00

大相談会

仙台市就職氷河期世代就職支援プロジェクト

進路診断
あなたの進むべき仕事と、出立金をあわせて! 就職のイメージをしてみよう!

履歴書用写真撮影
履歴書用写真をプロカメラマンが撮影! 企業採用に有利! マンダリンと連携しました!

正社員就職相談ブース
あなたの就職活動をサポートします!

2021. 9. 11 10:00-16:30

オンライン就職フェア

企業情報交換会(パネルディスカッション)
10:00~11:30 / 14:00~15:15

13:00~13:45 就活準備セミナー
見つめた未来の可能性を一緒に磨くキャリアデザイナー

0120-740-122

2. 経済成長戦略推進

- (1) 「地域リーディング企業」を生み出す徹底的集中支援の推進（意欲ある中小企業成長促進）
- (2) ローカル経済循環を拡大する「地消地産」の推進（中小企業の持続性向上・域内経済循環促進）
- (3) Society5.0を実現する
「X-TECH（クロステック）イノベーション都市・仙台」（ICTによる地域産業の高度化）
- (4) 東北の豊かな未来を創る
「ソーシャル・イノベーション都市・仙台」（起業支援の新たなステージへ）
- (5) 次世代放射光施設立地を最大限に生かす
「光イノベーション都市・仙台」（次世代放射光施設の利活用促進）
- (6) ダイバーシティ経営による人材確保（多様な人材が中小企業で活躍する社会へ）
- (7) 仙台・東北のポテンシャルを高める基盤づくり（企業誘致促進・東北自治体とのネットワーク強化）

(1) 「地域リーディング企業」を生み出す徹底的集中支援の推進

「仙台未来創造企業」創出プログラム

経済企画課

(連絡先：022-214-8275)

令和3年度決算額：10,822千円

令和3年度の取り組み

人材の首都圏への流出や支店経済に依存した産業構造などの課題解決に向け、上場を目指す地元企業に対して、コンサルタントや士業専門家による、各社の課題・ニーズ及び進捗状況に沿ったサポート等の集中支援を実施した他、上場のすそ野拡大を目的に、新たに上場チャレンジ基礎コースを実施した。

- ・新規認定企業数 2社（累計 12社）
- ・IPOセミナー（オンライン） 開催回数 6回
- ・上場チャレンジ基礎コース 登録企業数 7社
- ・上場チャレンジ基礎セミナー（オンライン）
開催回数 2回



令和3年度新規認定企業 市長表敬訪問

(1) 「地域リーディング企業」を生み出す徹底的集中支援の推進

御用聞き型企业訪問事業

仙台市産業振興事業団 経営支援課 (中小企業支援課)

(連絡先：022-724-1212)

令和3年度決算額：1,408千円

令和3年度の取り組み

【御用聞き型企业訪問】

地域連携フェロー、仙台市産業振興事業団職員、仙台市職員及びビジネス開発ディレクターが企業を訪問して技術課題等を抽出し、解決に向けた助言等を行った。

- ・新商品開発、工程改善件数 2件

【寺子屋せんだい】

先端技術の活用方法や研究施設の紹介を踏まえた講義形式のセミナーを、現地とオンラインのハイブリッド開催で実施した。

- ・開催回数 6回

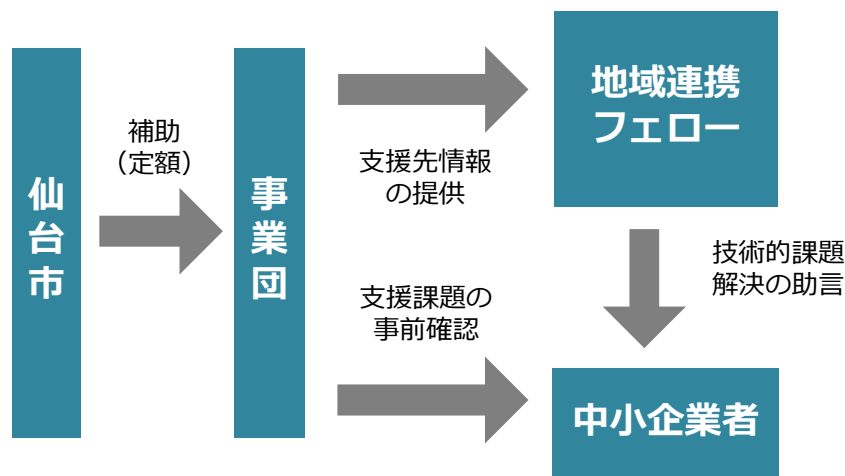
【産学連携専門家派遣】

地域連携フェローの専門外の技術分野について、地域連携アドバイザーや大学教授等を産学連携専門家として派遣し、技術相談や助言、産学連携コーディネート等の実施により課題解決を図った。

【次世代放射光施設の産業利用可能性を探るセミナー】

次世代放射光施設の概要・産業利用可能性等を学ぶセミナーを開催し、次世代放射光施設の利活用促進等を図った。

- ・開催回数 3回



(1) 「地域リーディング企業」を生み出す徹底的集中支援の推進

クリエイティブ産業振興

中小企業支援課

(連絡先：022-214-1003)

令和3年度決算額：12,365千円

令和3年度の取り組み

クリエイティブ産業と他産業の融合・連携による地域企業の高付加価値化、新たな価値の創造につながるビジネスの創出、地域課題の解決を通じ、地域経済の活性化を図った。

【クリエイティブプロジェクト助成事業】

創造性や発展性のあるプロジェクトに対して、助成金を交付したほか、フォローアップや後方支援等を行った。

- ・助成件数 5件

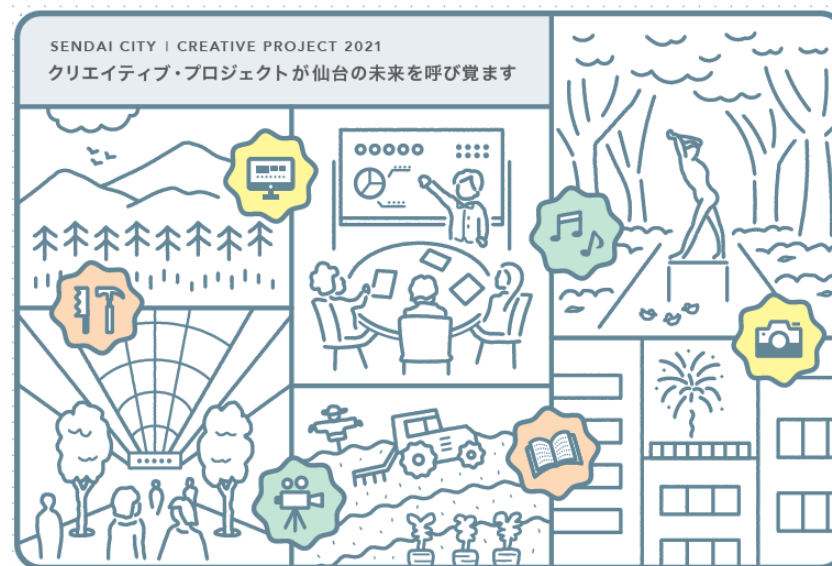
【クリエイティブ産業情報発信事業】

仙台を中心に活躍するクリエイターを取り上げたコラムやイベント情報等を発信するウェブサイトの運営、クリエイティブ産業関係者同士がネットワークを形成するためのワークショップ等を実施した。

【デザイン活用支援事業】

販促ツールに課題を抱える事業者に対し、専門家が制作の方向性や改善点等についてアドバイスを行ったほか、ホームページ「暮らす仙台」を通じて、地域中小企業の商品やサービスの認知度向上を図った。

- ・地域企業によるデザイン改善等 10件
- ・「暮らす仙台」掲載件数 175件、閲覧回数 13.6万回



クリエイティブプロジェクト助成事業キービジュアル

暮らす仙台

「暮らす仙台」ホームページデザイン

(1) 「地域リーディング企業」を生み出す徹底的集中支援の推進

ウェルビーイング産業創出促進

産業振興課

(連絡先：022-214-1005)

令和3年度決算額：5,777千円

令和3年度の取り組み

仙台フィンランド健康福祉センター（S-FWBC）を拠点に、介護福祉に関する製品・サービスの開発支援、オンライン展示会であるH.C.R(国際福祉機器展)への出展支援を行った。

また、シニア市場向け事業開発に関するセミナーの他、フィンランドとの経済・文化交流を目的として、フィンランドの高齢者ケアに関するセミナーや、北フィンランド地方のデザイン企業を日本に紹介するマッチングイベントを行った。

S-FWBCが持つ地域の介護施設とのネットワークを活かし、地元企業に対して福祉機器開発に係るアドバイスをを行った。



・開発支援件数	2件
・展示会出展支援件数	12件
・セミナー開催回数	6回
参加者数	延べ159名



(1) 「地域リーディング企業」を生み出す徹底的集中支援の推進

事業承継促進

中小企業支援課

(連絡先：022-214-1003)

令和3年度決算額：2,217千円

令和3年度の取り組み

関係支援機関等との連携を図りながら、事業承継の知識習得の支援、自社の事業承継診断の実施による将来計画の策定等の伴走支援を実施した。

- ・事業承継ネットワークを活用した無料相談窓口の設置
- ・後継者育成スクール 開催回数 3回
参加企業数 延べ23社
- ・事業承継診断の実施企業数 6社

令和3年度仙台市事業承継促進事業

事業承継診断

～世代交代に向けて、会社の「いま」を見える化し、「みらい」へつなぐ～

対象：経営者の年齢が60歳以上の仙台市内の中小企業・個人事業主の方

事業承継に向けて、会社の現状と課題を専門家が無料で診断します。診断結果に基づき対策も無料サポート。

Q. こんなお悩み、ありませんか？

- ・承継に向けた前準備はなにをすればいい？
- ・後継者は決まっていますが、どのようなスケジュールで承継すればいい？
- ・後継者の育成方法は？
- ・顧問税理士以外の第三者の意見も聞いてみたい

診断・サポート 無料

「事業承継診断」の流れ

- 1 申込
お電話・QRコードまたは事業承継促進センターから申し込みください。
- 2 ヒアリング
担当職員よりお電話にて、事業承継促進センターへお申し込みください。
- 3 診断レポートフィードバック
診断結果を「レポート」としてお渡しします。「レポート」には、貴社が今後取り組むべき事業対策もご案内します。
- 4 無料の専門家支援
診断結果に基づいて、貴社の事業承継対策を行う場合、中小企業診断士・税理士・弁護士による無料の専門家支援もご案内いたします。

事業期間：2021年8月1日～2022年1月31日 ※最大12社程度（先着順）

お問い合わせ：022-265-8127

仙台商工会議所

仙台市・仙台商工会議所主催

令和3年度 仙台市事業承継促進事業

せんだい後継者みらい塾

事業を引き継ぐ、更なる成長・発展を遂げるためには、経営者と後継者が協力し、共に学ぶことが必要です。特に後継者が事業の現状を把握し、課題を明確化した上で、後継者として成長するための準備が不可欠です。セミナーでは、事業承継に向けた行動計画を明確にするための作成を行うことで経営者だけでなく後継者も共に学ぶことができます。セミナー終了後は、受講者同士の関係構築も行います。ぜひ参加ください。

参加費 無料

日程 全3日間
2021年10月21日[木]・28日[木]、11月4日[木]
全日程ともに14:00～16:00
※セミナー終了後、1時間程度追加の2回まで個別相談を付け付けます。(事前予約制)

カリキュラム
10/21※ 「民法・商法・税法・経営から見た事業承継について」
10/28※ 「事業承継の事例研究と対策」
11/4※ 「事業承継計画の作成について」

講師 米田 正美 氏 (仙台市税理士・事業承継推進員 税理士 中小企業診断士)
これまで多くの中小企業・小規模事業者の事業承継に関わり、経営者としてだけでなく、中小企業家としての役割・経営者から後継者への事業の引き継ぎを支援。仙台商工会議所の事業承継コーディネーターとしても活躍中。

対象 仙台市内の中小企業者・個人事業主の方10社20名 (1社あたり1名参加と総参加者20名までとさせていただきます)

場所 TKPガーデンシティ PREMIUM 仙台店 カンファレンスルーム6D
(仙台市青葉区中央1-10-10 ラッパゲビルTEL.022-200-2010)

申込方法 ①下記URLにアクセスし、申込フォームからお申し込みください。
お申し込みページ: <https://www.sendaicci.or.jp/jinzai/20211021/>
※申し込みの締め切りは2021年10月15日です。お申し込み後、お申し込みの受付状況に応じてお申し込みの締め切りを調整させていただきます。
②申込フォームからのお申し込みができない場合は、お電話にてお申し込みください。

申込締切 2021年10月14日(木)まで 締め切りを過ぎるとお申し込みができません。

お問い合わせ 仙台商工会議所 事業承継センター
〒980-0614 仙台市青葉区中央2-16-12 TEL.022-265-8127 MAIL:seinar@sendaicci.or.jp



後継者育成スクール

(1) 「地域リーディング企業」を生み出す徹底的集中支援の推進

「新東北みやげコンテスト」事業

仙台市産業振興事業団 経営支援課 (中小企業支援課)

(連絡先: 022-214-1003)

令和3年度決算額: 4,105千円

令和3年度の取り組み

バイヤーや消費者、メディアに向けた商品PRと売上向上を目的として、東北6県の事業者を対象とした商品募集、書面による1次審査、オンライン展示会を兼ねた2次審査、受賞者の表彰式、及び受賞商品を中心とした販売会を実施した。

- ・ エントリー商品数 210件
- ・ 販売会開催回数 6回
- ・ マスメディア掲載件数 10件以上



最優秀賞 みさきの一軒家 (株式会社岡ざき)



販売会

(1) 「地域リーディング企業」を生み出す徹底的集中支援の推進

バイヤーとの個別マッチング支援

仙台市産業振興事業団 経営支援課（中小企業支援課）

（連絡先：022-724-1122）

令和3年度決算額：841千円

令和3年度の取り組み

東北に所在する中小企業者を対象に、仙台市産業振興事業団に配置しているビジネス開発ディレクターが、販売戦略の策定を支援しながら、最適な販路先バイヤーとのビジネスマッチングを実施した。

- ・ 支援企業数 104社
- ・ 商談件数 256件
- ・ 商談成約件数 109件

<主な支援実績>

支援先企業	マッチング成約先	成約内容
菓子製造業者 (宮城県)	百貨店 (東京都)	支援先企業の菓子が大手百貨店ギフトカタログに掲載され販売することとなった。
食品製造業者 (宮城県)	輸入業者 (台湾)	支援先企業の水産加工品を台湾の高級スーパーにて販売することとなった。
食品製造業者 (福島県)	催事販売業者 (大阪府)	支援先企業の調味料を関西圏等の複数の催事にて販売することとなった。
雑貨製造業者 (宮城県)	スーパーマーケット (東京都)	支援先企業のキッチン雑貨が大手スーパーのノベルティとして採用された。

(1) 「地域リーディング企業」を生み出す徹底的集中支援の推進

地域商社を活用したローカルブランディング 及び域内外への販路開拓・消費拡大支援事業

中小企業支援課

(連絡先：022-214-1003)

令和3年度決算額：17,645千円

令和3年度の取り組み

地域商社機能をもったプラットフォームを活用し、地域ブランド「都の杜・仙台」参画事業者に対して、セミナーの開催、ECサイトを活用した域内外への販路拡大、専門家による個別商品磨き上げ、スーパーマーケットトレードショーへの出展支援等を実施して、域内外への販路開拓を実施した。

- ・セミナー開催回数 3回
- ・ECサイト出品事業者数 36社
- ・個別商品磨き上げ参加数 9社
- ・スーパーマーケットトレードショー2022
ブース出展者数 6社



ECサイト



スーパーマーケットトレードショー

(1) 「地域リーディング企業」を生み出す徹底的集中支援の推進

東北地域ものづくり企業連携事業

仙台市産業振興事業団 経営支援課（中小企業支援課）

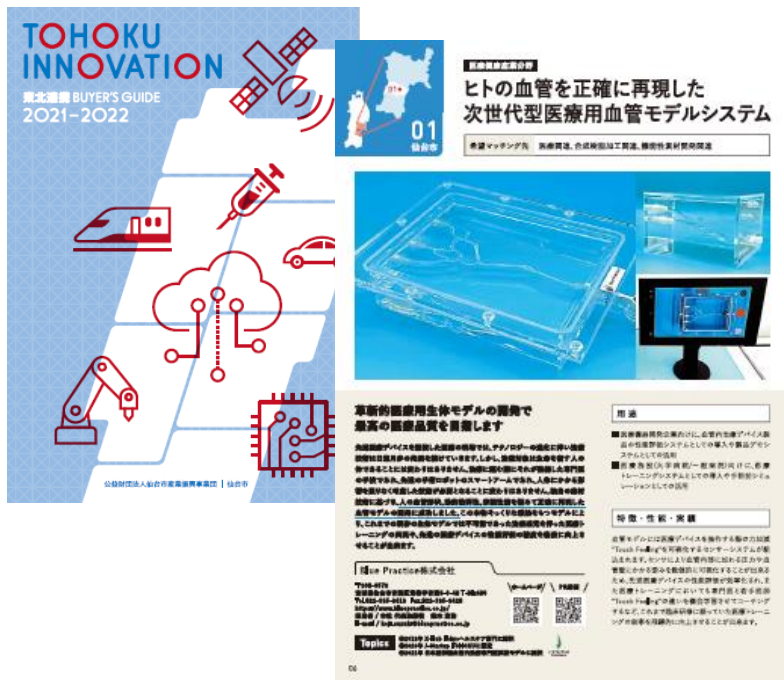
（連絡先：022-724-1212）

令和3年度決算額：1,583千円

令和3年度の取り組み

本市と東北6県のものづくり企業を紹介する冊子として、「東北連携バイヤーズガイド」を発行。各都道府県+政令市に配布し、東北域内企業の情報を域外へ情報発信するツールとして活用した。

東北域内の支援機関を本市に招き、「東北地域ものづくり連携会議」を開催。各地域のものづくり企業のニーズ・シーズについて情報交換を行った。



東北地域ものづくり連携会議

(2) ローカル経済循環を拡大する「地消地産」の推進

中小企業者金融支援事業

中小企業支援課

(連絡先：022-214-1003)

令和3年度決算額：15,698,030千円

令和3年度の取り組み

国の保証制度を活用した低利・固定・長期返済期間の融資制度を構築し、市及び信用保証協会が地元中小企業の信用補完と貸倒れの際の金融機関の損失補償を行うことで、地元中小企業の資金調達の円滑化を支援した。

区分	預託額 (千円)	損失補償額 (千円)	融資件数 (件)	融資額 (千円)	融資残高 (千円)
中小企業 育成融資	13,556,000	47,878	837	11,013,736	41,683,166
小規模企業 小口融資	545,000	6,426	205	744,040	1,452,431
地域産業 活性化融資	291,000				398,277
新事業創出 支援融資	893,000	1,726	129	761,610	1,444,503
一般社団法人等 支援保証融資	357,000		6	76,700	332,831
計	15,642,000	56,030	1,177	12,596,086	45,311,208

(2) ローカル経済循環を拡大する「地消地産」の推進

商店街交流促進事業

商業・雇用支援課

(連絡先：022-214-1001)

令和3年度決算額：200千円

令和3年度の取り組み

市内商店街が最新の活動状況等について情報交換する交流イベント「商店街サミット」を開催し、各商店街が取り組む事業活動や抱える課題を共有する機会を創出することで、商店街間のネットワーク強化等を図った。

- ・ 令和3年度幹事商店街 荒町商店街
- ・ 参加商店街数 7商店街
- ・ 内容 参加商店街からの事例発表、意見交換会



商店街サミット開催の様子



参加商店街からの事例発表

(2) ローカル経済循環を拡大する「地消地産」の推進

商店街近代化対策研究事業

商業・雇用支援課

(連絡先：022-214-1001)

令和3年度決算額：1,257千円

令和3年度の取り組み

商店街や事業協同組合の組織活性化を図るため専門家等を派遣し、研修会等を開催することにより、環境の変化に応じた事業活性化を促進し、中小企業団体の近代化や次代を担う中小企業者の育成を図った。

【支援対象】

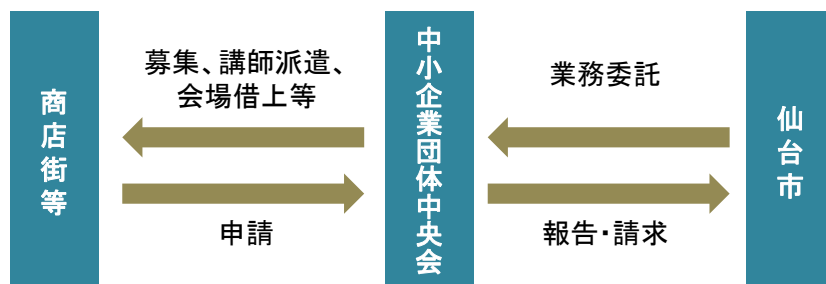
- ・商店街近代化対策研究事業

市内の商店街振興組合、任意の商店会等

- ・組合事業等活性化指導事業

市内に主たる組合事務所がある中小企業団体

【事業スキーム】



- ・開催回数 11回

【主な研修会テーマ】

- ・SNS活用
- ・ウィズコロナ・アフターコロナのインバウンド市場
- ・持続可能な商店街の在り方
- ・インボイス制度の導入 など



(3) Society5.0を実現する「X-TECH（クロステック）イノベーション都市・仙台」

次世代X-TECHビジネス創出促進事業

産業振興課

(連絡先：022-214-8263)

令和3年度決算額：38,981千円

令和3年度の取り組み

AIを始めとする先端IT技術を活用した付加価値の高い新たなビジネス創出・既存事業高度化を目的として、経営層向けのセミナーやビジネス創出ワークショップ等のプログラムを実施した。

AIを始めとする先端IT技術を活用したビジネス創出に取り組むことができる人材を育成するため、AI等に関する基礎的/専門的な知識や技術を学ぶ教育プログラムや普及啓発セミナー等を実施した。

- ・経営層向けAIハンズオンセミナー参加者数 27名
- ・AIビジネス創出ワークショップ参加者数 19名
- ・AIビジネスメンタリングプログラム参加企業数 12社
- ・仙台X-TECHイノベーションアワード申込数 15件
- ・AI人材育成関連事業参加者数 延べ125名
- ・普及啓発オンラインセミナー参加者数 延べ205名



(3) Society5.0を実現する「X-TECH（クロステック）イノベーション都市・仙台」

東北大学情報知能システム(IIS)研究センター 運営支援

産業振興課

(連絡先：022-214-8263)

令和3年度決算額：24,016千円

令和3年度の取り組み

地域産業・地域企業が抱える課題やニーズと、東北大学工学研究科電気・情報系約80の研究室が持つ先端技術シーズのマッチングを行った。

相談案件の課題解決・新ビジネスの創出に向けて、競争的資金獲得・研究開発・事業化までの一貫した支援を行った。

・打合せ件数

来訪 53件

訪問 552件

web 1,188件

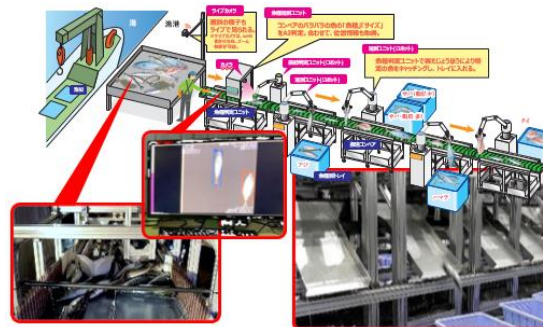
タイヤ脱着作業の半自動化



機械システム
シミュレーション技術
(東北大学)
×
地元IT企業他
×
自動車整備事業者

→製品化に向けて開発中

定置網等の魚種選別自動化



画像処理技術・
摩擦技術等
(東北大学)
×
地元IT企業他
×
漁協・
水産設備事業者等

→製品化に向けて開発中

開発支援事例

(3) Society5.0を実現する「X-TECH(クロステック)イノベーション都市・仙台」

CareTech(ケアテック)推進事業

産業振興課

(連絡先：022-214-1005)

令和3年度決算額：5,777千円

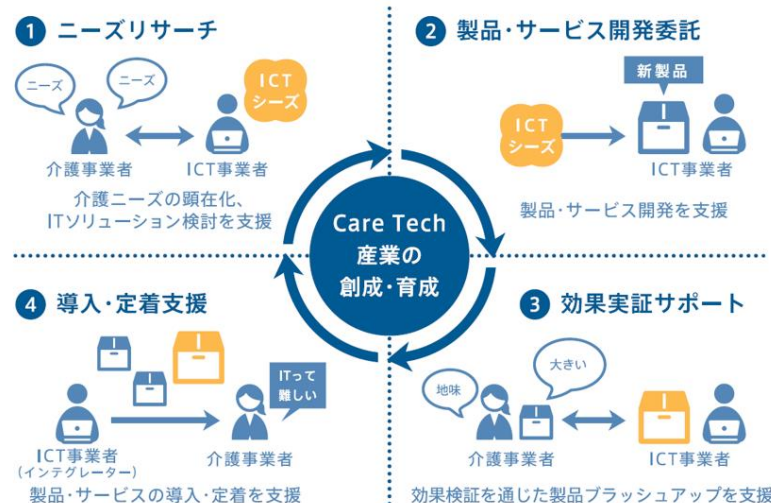
令和3年度の取り組み

仙台フィンランド健康福祉センター（S-FWBC）を拠点に、介護福祉に関する製品・サービスの開発および普及を支援した。

IT企業やものづくり企業向けに、介護現場の現状を学ぶセミナーを開催したほか、市場調査・開発・実証など、製品化の段階に応じた支援を実施した。

また、介護施設へのICT技術の導入・定着を支援すべくセミナーの開催やIT専門家の派遣を実施した。

・開発企業向け支援	セミナー参加者数	63名
	市場調査支援件数	2件
	開発支援件数	2件
	実証支援件数	1件
・介護施設向け支援	IT専門家派遣	2施設



(3) Society5.0を実現する「X-TECH(クロステック)イノベーション都市・仙台」

HealthTech(ヘルステック)推進事業

産業振興課

(連絡先：022-214-1005)

令和3年度決算額：8,117千円

令和3年度の取り組み

ヘルスケアビジネスに関心のある企業・団体が学びの場、情報交換の場として「仙台ヘルステックコンソーシアム」を設立した。

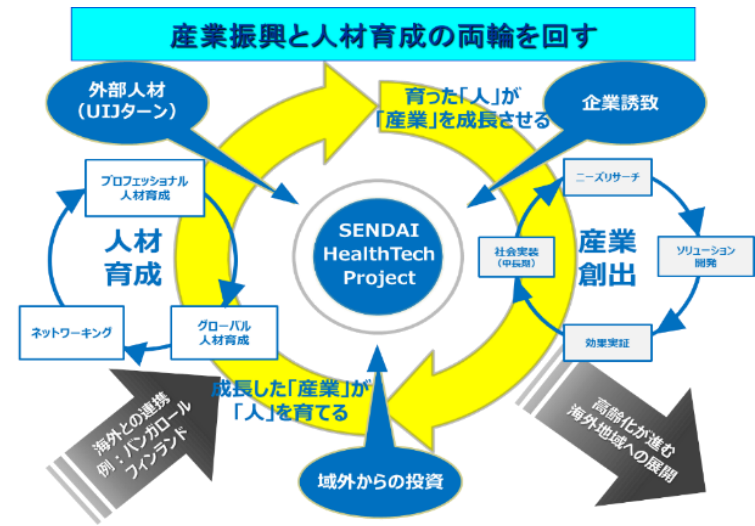
会員に向けて、事業開発ノウハウを学ぶ講座や、自社PRや情報交換を行えるネットワーキングイベントをオンラインで開催した。ビジネスアイデアコンテストを実施し、会員企業のうち5社がファイナリスト企業として登壇した。

また、前年度の上位企業への支援として、仙台市を実証フィールドとして健康習慣化アプリの実証を行った。

- ・コンソーシアム登録企業数 約80社
- ・講座の開催 実施回数 6回/参加者数 延べ213名
- ・ネットワーキングイベントの開催 実施回数 6回/参加者数 延べ100名
- ・実証件数 2件/参加者数 延べ165名



オンラインでのネットワーキングイベントの様子



事業のコンセプト

(3) Society5.0を実現する「X-TECH（クロステック）イノベーション都市・仙台」

BOSAI-TECH イノベーション創出促進事業

産業振興課

(連絡先：022-214-8263)

令和3年度決算額：44,550千円

令和3年度の取り組み

BOSAI-TECHイノベーション・エコシステムの形成を通じて、仙台防災枠組が掲げる世界の災害リスク低減への貢献を目指し、産学官金連携組織の「仙台BOSAI-TECHイノベーションプラットフォーム」を設立し、「防災関連事業の創出や事業化を支援するプログラム」や「防災関連の技術紹介、ビジネスマッチングの機会を提供するイベント」を開催した。



- ・「仙台BOSAI-TECHイノベーションプラットフォーム」
参画団体数 85団体（令和4年3月31日現在）
- ・「仙台BOSAI-TECH Future Awards（事業創出プログラム）」
応募件数 25件 採択企業数 3社
- ・「仙台BOSAI-TECHグローバルオープンイノベーションプログラム（事業創出プログラム）」
応募海外企業数 14社（11ヶ国） 採択企業数 6社
- ・実証実験サポートプログラム(事業化支援プログラム)
応募企業数 8社 採択企業数 4社
- ・仙台BOSAI-TECHカンファレンス2022（防災関連の技術紹介、ビジネスマッチングイベント）
参加団体数 23団体 視聴者数 220名

(3) Society5.0を実現する「X-TECH（クロステック）イノベーション都市・仙台」

中小企業新製品等開発支援補助金

産業振興課

(連絡先：022-214-8263)

令和3年度決算額：9,008千円

令和3年度の取り組み

新事業創出及び高付加価値化を目指し、克服すべき技術的課題を解決するため、市内の中小企業が行う新製品・サービスの開発に対する補助金を交付した。

12社より地域や社会の課題解決に資する先端口ボティクス関連、またはIT関連の新たな製品・サービスの開発にかかる申請があり、有識者による審査委員会を通じて、5社を採択した。

- ・申請件数 12件
- ・採択件数 5件

<採択事業>

企業名	事業計画名
(株)Adansons	リアルデータからAIを開発するSaaSの実証実験および製品化
(株)ミヤックス	勘と経験からデータとAIによる販売予測で食品ロスと業務効率化を実現へ！
(株)空むすび	ドローン自動発着装置の開発
Synm World(株)	乗用車からトラック用まで含めたタイヤ交換省力化ロボットの開発
(株)funky jump	コミュニティ形成支援ツールTAISYの改良・アルゴリズム開発



(3) Society5.0を実現する「X-TECH（クロステック）イノベーション都市・仙台」

グローバルラボ仙台コンソーシアム運営支援

産業振興課

(連絡先：022-214-8263)

令和3年度決算額：16,995千円

令和3年度の取り組み

フィンランド・オウル市との産業振興協定に基づき、仙台・東北のIT・ゲームコンテンツの産業分野における人材育成や企業間ネットワークを活性化することで産業振興に繋げることを目的に、地場企業や教育機関が組織するグローバルラボ仙台コンソーシアムの運営支援を行った。

具体的な活動として、東北の学生を対象に、地域のIT企業・ゲーム企業等に所属する方をメンターとして、約半年間にわたってアプリやゲーム等の企画・開発を行うプログラム「開発塾」を実施した。

仙台・東北のIT関連学生の技術力向上の機会の提供や、コンテスト出場学生とスポンサー・地域企業を繋げることを目的としたアプリコンテストイベント「DA-TE APPS!」を開催した。また、オウル応用科学大学の「オウルゲームラボ」の学生もアプリコンテストに参加し、仙台・東北の学生との交流を行った。

海外展開の支援や首都圏企業等とのマッチングを行い、企業の販路開拓から事業拡大に繋がられるよう、首都圏展示会(東京ゲームショウ)等への出展支援を行った。

- ・人材育成プログラム及び
コンテスト等関連事業実施回数 3回
- ・アプリ創出件数 10件



アプリやゲームの企画・開発を行う「開発塾」



アプリコンテスト「DA-TE APPS!」

(3) Society5.0を実現する「X-TECH（クロステック）イノベーション都市・仙台」

地域IT人材確保支援事業

産業振興課

(連絡先：022-214-8263)

令和3年度決算額：3,690千円

令和3年度の取り組み

市内IT企業の認知度を高め、人材確保を支援することを目的に、学生・若者等に対してオンラインにより、「IT業界啓発イベント」及び「IT業界合同企業説明会」を開催した。

- ・ IT業界啓発イベント 視聴者数 延べ88名
- ・ IT業界合同企業説明会 参加企業数 27社
参加者数 109名



IT業界啓発イベント



IT業界合同企業説明会

(3) Society5.0を実現する「X-TECH（クロステック）イノベーション都市・仙台」

IT産業関連展示会出展支援

産業振興課

(連絡先：022-214-8263)

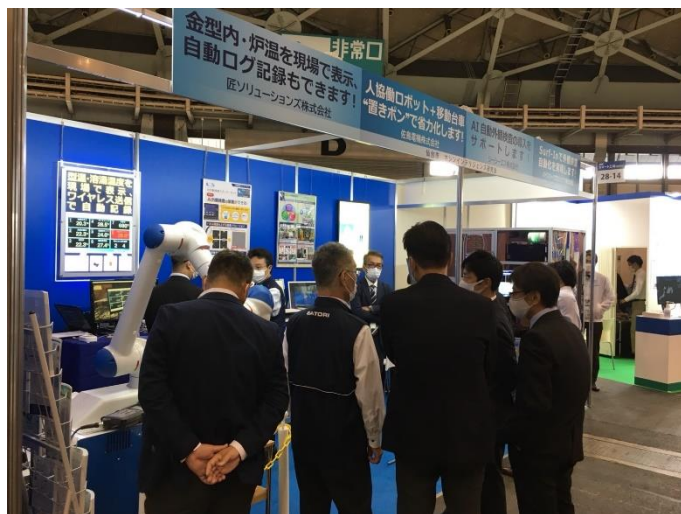
令和3年度決算額：1,060千円

令和3年度の取り組み

仙台・東北をフィールドに開発したITソリューションの販路開拓を支援するため、東北大学IIS研究センターやマシンインテリジェンス研究会等の関連団体とともに先端IT技術関連展示会への出展支援を行った。

地元のゲーム・モバイルアプリ開発企業の販路開拓を支援するため、オンラインで開催されたゲーム関連展示会への出展支援を行った。

- ・各種展示会への出展支援件数 2件



IT産業関連展示会



ゲーム産業関連展示会（オンライン）